

---

# めいる!?

宇翊 來斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

めいる！？

### 【Nコード】

N1612BA

### 【作者名】

宇翊 來斗

### 【あらすじ】

超能力。

その存在は全く知られていなかった。一部の人間を除いて。

私立咲良高校はほとんどの生徒が成績優秀な超エリート学校。それは表向きだけで、その学校では才能を持った生徒を集めて超能力の開発が行われていた。そんな学校に一人の男が入学した。成績は最低ランク。そんな彼が入学したことによってこの学校で大規模な抗

争に発展する。

ちよつと変なやつらによる残念系超能力バトル!!

## プロローグ：入学前夜

私立咲良高校。

毎年、多くの生徒を東大に送り込んでいる超エリート校だ。この時代で活躍している政治家や科学者たちのほとんどはこの学校出身、と言われるぐらいこの学校は知られている。

そんな超エリート学校の前に、平々凡々でモブキャラな、俺こと霧崎樞流 きりさきめいる は立っていた。正直周りから超浮いている。視線は痛いし、初日から学校がいやになった。なぜ俺はこんなところにいるのか、それは一ヶ月前に遡る。

高校最後の年の三月。志望した公立高校の受験に全滅したことによって俺はパニックに陥っていた。

そんなとき、家に一通の封筒が届いた。宛名は私立咲良高校だった。何かの間違えかと思っただが、俺はこの封筒を開けてしまった。すると中には合格通知が入っていた。名前は俺の名前になっている。だが学科が妙な名前だった。大抵の学校は普通科だが、そこには、『劣科』と書いてあった。欠片も聞いたこともなかったが、今はそんなことを考えている余裕はなかった。俺は藁にもすがる思いで、咲良高校に行つて確認してみると、確かに、俺の名前が合格者の中にあつた。

そのときの俺は怪しむこともなく、ただ喜んでいた。

その合格の裏に隠された意味を欠片も知らずに……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1612ba/>

---

めいる!?

2012年1月4日01時50分発行